



LEBO木製ドア 施工説明書

ガラス有り：Avantgarde 用

このたびはドイツ LEBO木製ドアをご購入頂き、誠にありがとうございます。
施工を行う前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しく施工してください。
施工後も大切に保管してください。

<ご注意>

- ・施工前に部材、部品の有無、傷の有無をご確認ください。
- ・納入後の傷に対する責任は当社では負いかねます。
- ・部材を保管する際には、直射日光、湿気を避けてください。

! ドイツLEBO社製室内ドアは、ドイツで一般的且つ合理的な「後施工」向けに設計されております。
製品は、寸法を合わせてカットされた状態で出荷されておりますので、**枠（インセットタイプの引き戸を除く）**の取り付けは、床・ボードが仕上がった後に行ってください。

MN-LEBO-A01

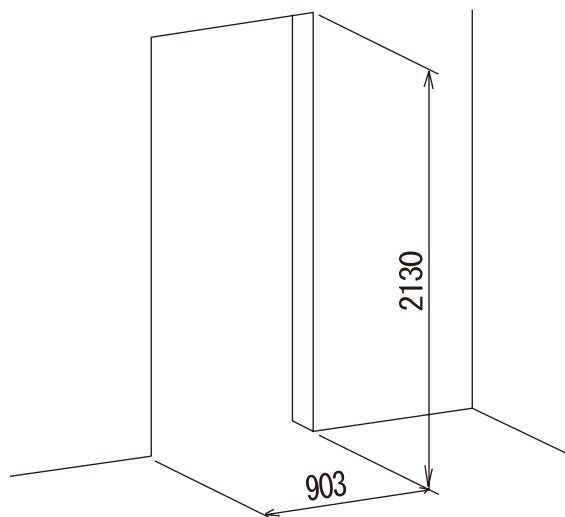
ドア施工手順

◆以下の手順を参考に行うと作業がスムーズに行えます。

- 取付け壁面開口寸法の確認 **1**
- パーツリストの確認 **2**
- ドア枠の取付け **3**
- ドアの仮つり込み **4**
- 発泡接着剤の注入 **5**
- 確認と増し締め **6**
- ドアの調整 **7**
- 見切の取付け **8**

1 取付け壁面開口部寸法の確認

●取付け壁面開口部の寸法をご確認ください。

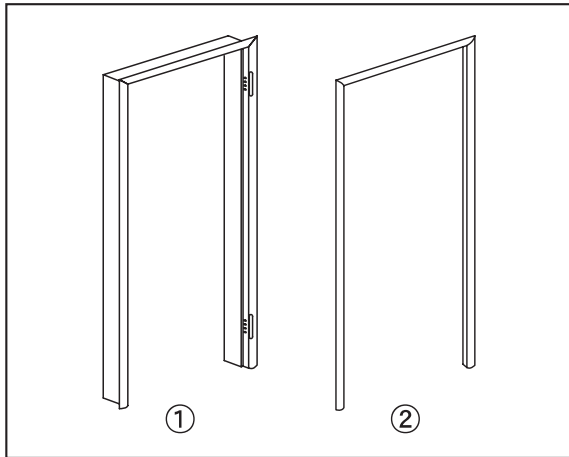


対応壁厚	
対応壁厚サイズ	壁厚
100	100mm～120mm
120	120mm～140mm
140	140mm～160mm

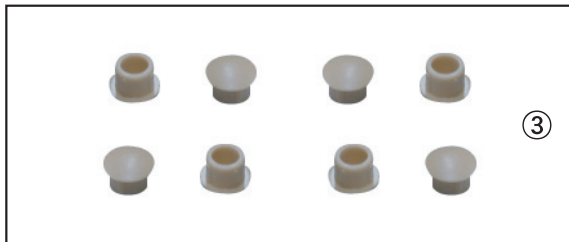
2 パーツリストの確認

●部材・部品の数量及び傷の有無を確認してください。

- ❗ ドアの種類によっては、使用されないパーツもございますのでご注意ください。
- ❗ 必要になる工具はお客様にてご用意ください。



- ① ドア枠(組立て済み) X 1
- ② 見切(組立て済み) X 1
- ③ キャップX8
- ④ ドア本体(写真無し) X 1 (ドア側ヒンジ付)



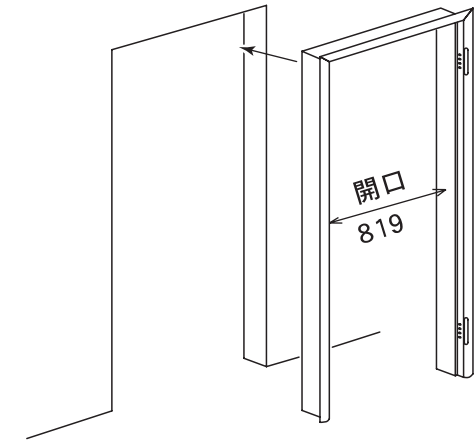
その他必要なもの

- 発泡接着剤(別売品)
- 六角レンチ(2面幅・4mm)
出来る限り丈夫なものをご用意ください
- 水平器
- バリ
- パッキン材(当て木・隙間埋め用板)

3 ドア枠の取り付け

1 ドア枠の挿入

ドア枠を取り付け壁面開口部にはめ込んでください。



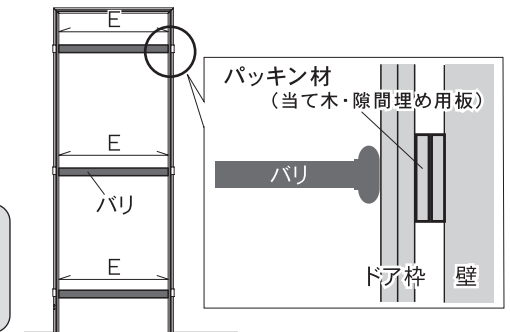
2 パッキン材とバリの取り付け

●パッキン材(当て木・隙間埋め用板)を方立と壁との隙間に差し込んでください。

●バリを使って開口幅が変化しないようにします。

●扉枠開口部寸法Eを確認してください。(上・中・下 3箇所)

❗ 開口寸法を確認してください。ドアが取り付けられない場合があります。

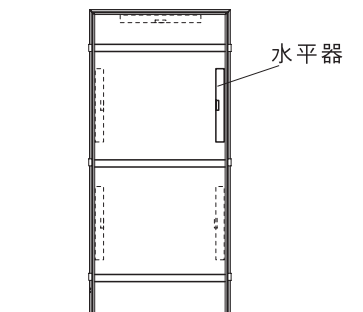


3 水平器での測定

●水平器を使って方立の垂直と水平を確認・調整してください。

●水平器は、少なくとも上、右上、右下、左上、左下の5箇所以上を目安に測ってください。

●方立のねじれや傾きについても同様に確認・調整してください。

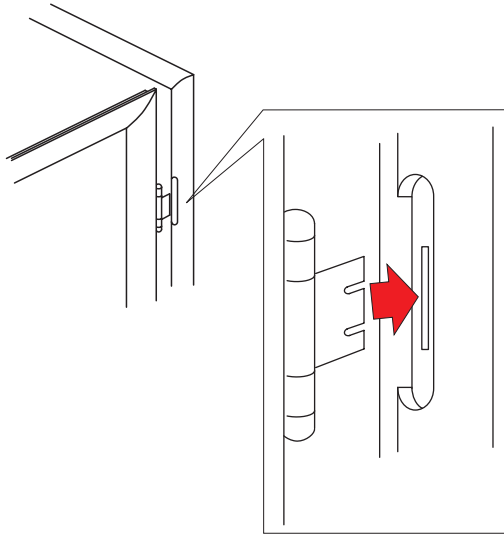


4 ドアの仮つり込み

※枠の固定前の開閉確認ですので、調整完了後は一旦ドアを取外します。

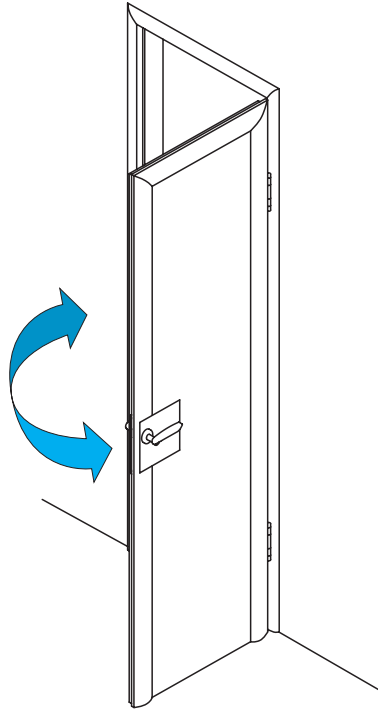
1 ドアの吊り込み

ドアに付いているヒンジの板状になった部分を、ドア枠のヒンジ取り付け穴に差込みます。



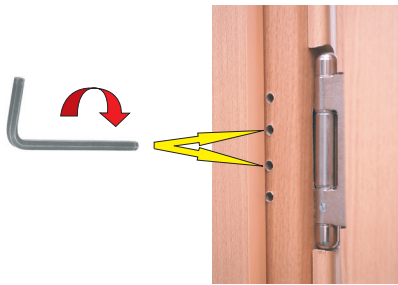
3 ドアの開閉がスムーズに出来ることを確認します。

- 調整が必要な場合は、手順 7 の調整を行ってください。



2 内側の2つの穴(下記矢印)からネジを締めて、ドアを固定してください。

- ヒンジは、上下2ヶ所ありますので、上下とも同じように作業してください。(合計4箇所)



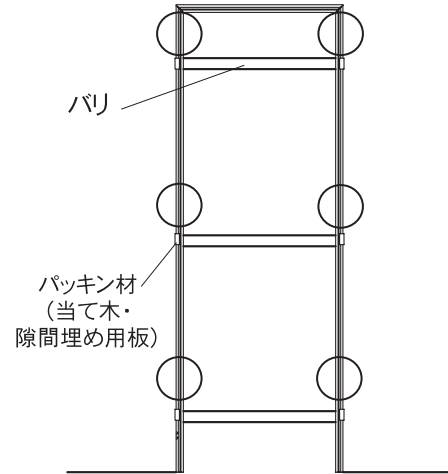
つり込みの作業は、ドアが重いので、2人以上で行ってください。

開閉確認の際には、レバーを仮組みしてお使いください。

(詳しくはレバーの施工説明書をご覧ください。)

5 発泡接着剤の注入

- ドア(ヒンジ)の調整が出来ましたら一旦ドアをはずして、壁とドア枠の隙間(右図に示す辺り6箇所)に発泡接着剤(別売)を注入してください。
- 発泡接着剤は、左右それぞれ3箇所を20cm程の長さで注入するのが目安です。
- 発泡接着剤が完全に固まったら、バリとパッキン材(当て木・隙間埋め用板)をはずしてください。
- はみ出た発泡接着剤は、硬化後にカッター等で、製品に傷つけないよう注意して切除してください。



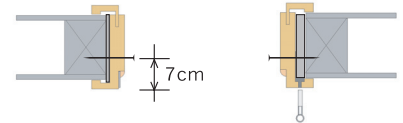
⚠ 発泡接着剤がの硬化時間は、1時間半が目安です。

(ただし、温度や湿度によって変わります。なお、発泡接着剤の使い方については、発泡接着剤の取扱い説明書をご覧ください。)

発泡接着剤は二液式の為、短時間で硬化を開始し、ノズルの中でつまって使えなくなることがあります。ドア施工が複数枚の場合は、あらかじめ全てのドア(ヒンジ)調整が完了した後に注入してください。

ビスによる施工の場合

- 1 ベニヤ板等のパッキン材(当て木・隙間埋め用板)は、側面のみ隙間のないように詰め込んでください。

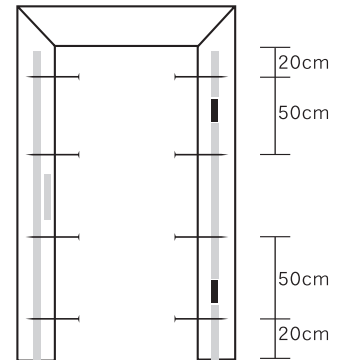


- 2 ビス止めはヒンジ側より行ってください。

- 3 ビス施工後は、ビスの頭に目隠し用のシールを取り付けてください。

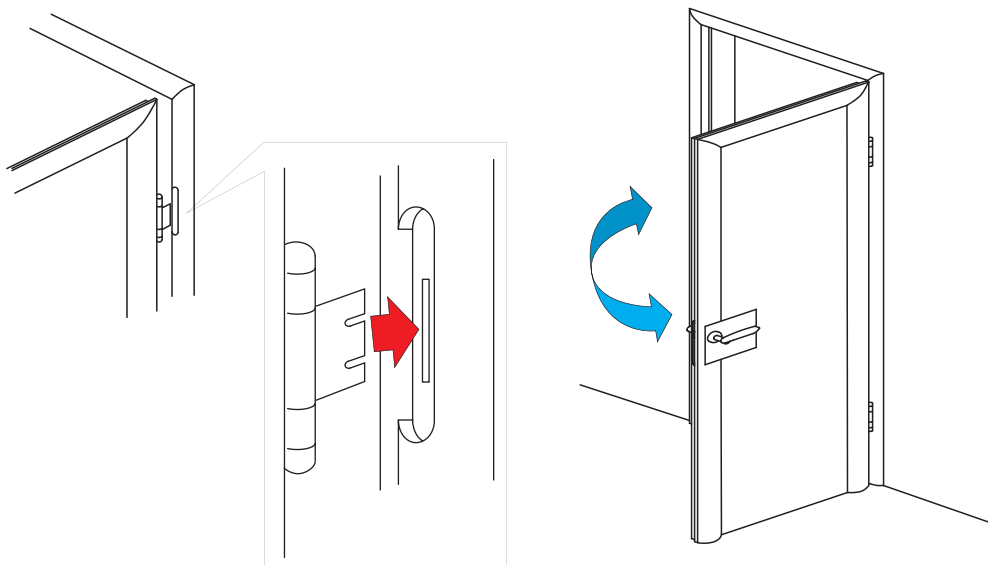
※ビスは下地に合わせてご用意ください。

※目隠しシールは、弊社にて用意しておりますので、お問い合わせください。



6 確認と増し締め

● ドアを取付け、再度、ドアの戸当りを確認し、必要であれば手順7の調整を行ってください



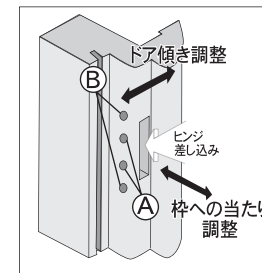
● 特に問題がなければ、ドア枠のヒンジ金具受け部品の六角穴付ボルト(2箇所)の緩みがないようにしっかりと増し締めをしてください。



❗ ヒンジ受け部品の六角穴付ボルトの締め忘れに注意してください。ドア脱落の原因になることがあります。

7 ドアの調整

枠側のヒンジ差込位置にある、① ② 8つの穴に六角レンチを差込み、ネジを回すことにより、ドアの調整を行うことができます。

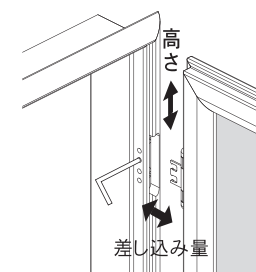


1 ドアの吊り込み・高さ・奥行き調整

① ネジを緩め、ヒンジの差し込み量を調整して、枠への当たりを調整することができます。

※高さ調節は、① ネジを緩めた後、ドアの底にクサビや板等を入れて行ってください。

❗ 調整後は、上下2箇所(①ネジ：合計4箇所)を確実に締め込んでください。

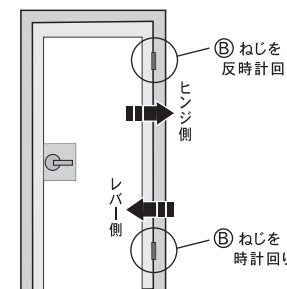


2 ドアの傾き調整

2つのヒンジのそれぞれ1番目と4番目の穴のネジ(②ネジ：合計4箇所)でドアの傾きを調整してください。

- ネジを左回し(反時計方向)
：ドアがヒンジ方向へ動きます
- ネジを右回し(時計方向)
：ドアがレバー方向へ動きます

❗ ②ネジは、上下均等に(半回転ずつ)回してください。片方のネジだけを回しすぎると、ネジが破損するおそれがありますので決してきつく締めないでください。



3 ドアの確認

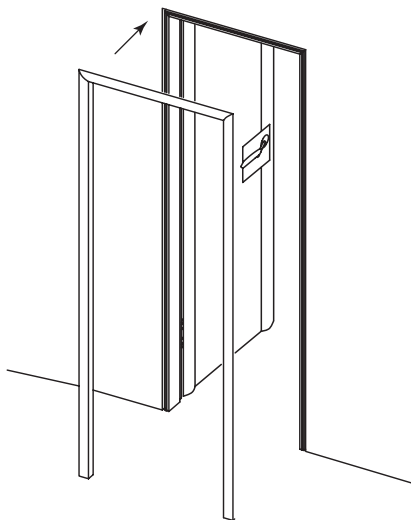
ドアの開閉具合を確認し、下記の様な問題がある場合には、もう一度①、②の調整を行ってください。

1. ドアが枠の中央にない。(枠とドアの隙間が均等でない)
2. ドアが床に擦っている。
3. ラッチが搔からない。

8 見切の取り付け

● 見切をはめ込みます。

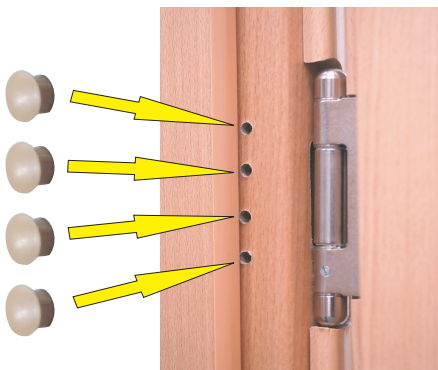
● ドアの開閉具合を確認し、必要があれば手順8の調整を行ってください。
調整後、必要に応じて木工用ボンド等で固定してください。



9 完成

● ドア開閉確認の最終調整が完了後、固定用ネジを増し締めし、ドア枠のレンチ通し穴（8箇所）にキャップ③をはめてください。

施工の完了です。



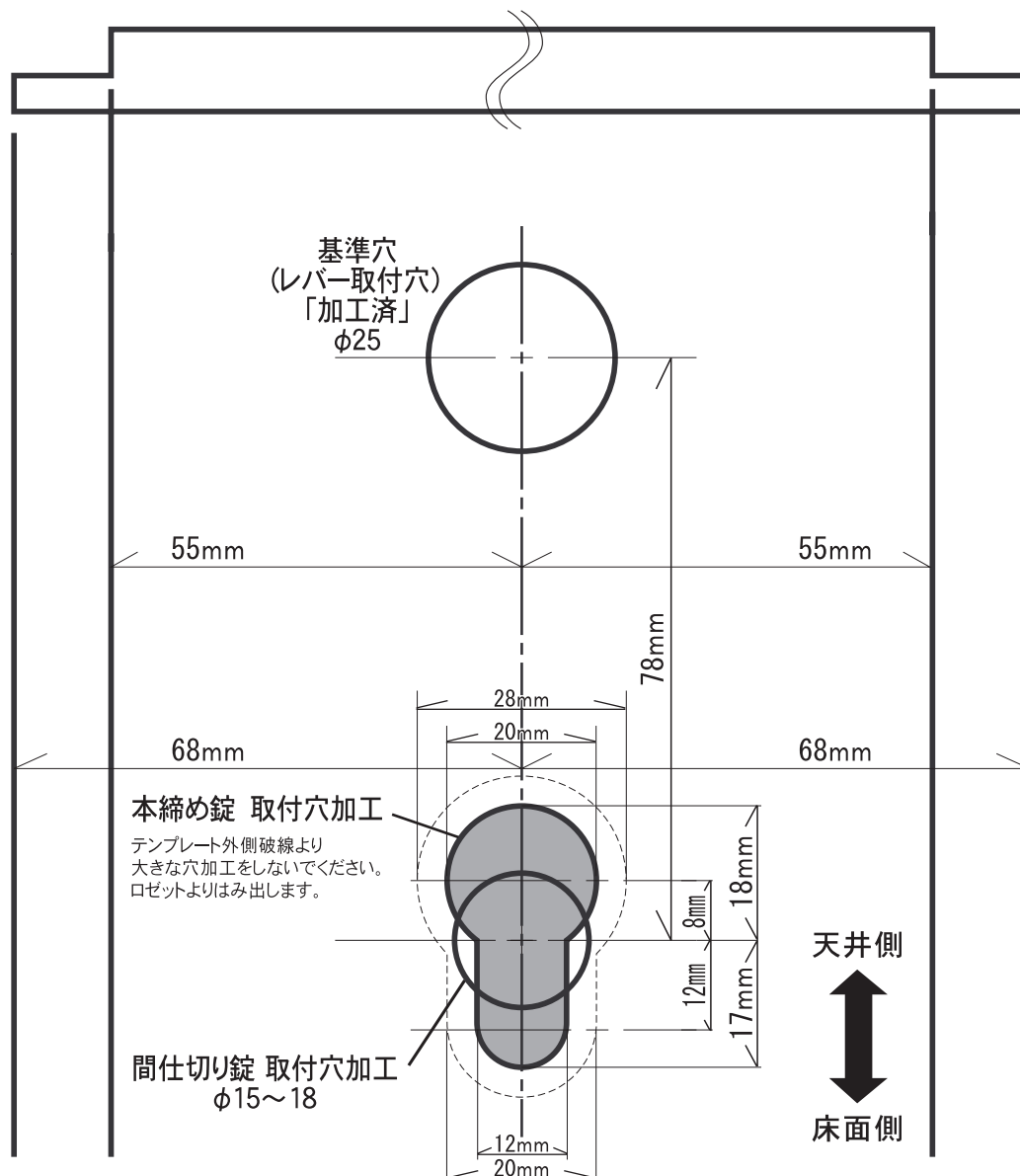
❗ ドアレバーの取付けについては、ドアレバー施工説明書をお読みください。

❗ 水廻りの場所で使用する場合は、枠の下部端面部にシリコン等でシーリングして水の浸入を防いでください。

施工後、周囲の建築工事に支障がないようにダンボール材などで養生してください。その際には養生用弱粘テープを使用し、扉などの化粧面には直接貼り付けないでください。

錠穴加工用テンプレート

● LEBO木製ドアに間仕切り錠等の穴加工をする場合は、このテンプレートを使用して錠取付穴を加工してください。



❗ ロックケースを取り外し、表裏両面から加工してください。
(扉表面に当て木をしてバリ発生を防いでください。)